

2022年度 就職先企業アンケート結果報告（栄養士・製菓衛生師教育に求めること）

採用担当者等による卒業生評価アンケート 12社回答（2022年度実施分）

※ここ数年に採用いただいた短期大学部卒業生の全般的な傾向での回答



[本学短期大学部学生への能力養成（教育）についての主な意見・要望]

- 栄養に興味を持った学生が増えてほしいと思います。問題に対してその場しのぎの対応を考えて乗り切るのではなく、再発防止策など先のことを考える力は興味や熱意の先にあると思うためです。
- 同じ職場スタッフとのコミュニケーション能力は大切だと思います。価値観が若干異なる、それぞれのスタッフに対して誠実さと配慮を持って仕事に取り組むことができる人財を育てていただきたいです。
- 最後までやり続ける、やりきる能力や気持ちをもった方が今後増えると良いと感じています。途中で諦めてしまうと成果を出すことができず、仕事に影響がでてしまいます。面接でも過去の取り組みに関して質問します。是非、目的をもち取り組んだ経験をしていただければと思います。
- 卒業生の皆様が即戦力として最前線で活躍されているメンバーばかりです。特徴としてコミュニケーションをしっかりとることができ、周りのメンバーと協力しながら業務を進めていくことができる「チームで働く力」に長けている方ばかりです。技術に関しても学校で学んだことを活かし製造面でも即戦力となっています。卒業生はキャリアアップしているメンバーばかりでこれからの弊社の中核を担ってくれるメンバーです。
- 就職後は全員現場での勤務から始まる。商品開発は180名中1名なれるかどうか。3日に1つの新作を考案するペース。プレッシャーも大きいのが現状。工場での製造ライン（機械のオペレーション等あり）から始まるため学んできた事とのギャップがないか？業務に興味を持てるか？も重要になってくる。学業だけでなく課外活動やアルバイト等にも一生懸命取り組んでいるか？についても採用試験では問われることが多い。
- 短大・専門生で現在大きな問題はない。今後も大量調理実習を多く経験させる。基本的な包丁技術の修得を行っていくと現場に出てからの成長にもつながる。（指定された切り方に対応する能力）。今後も、嚙下調整食に関する基礎知識を学ばせておくと現場での実践的な知識・技術の修得がスムーズになると思われる。
- 卒業生の皆さんは元気な方が多く、現場の従業員とコミュニケーションを取れる方が多いです。同期や従業員と話すときは会話が飛び交っているのですが、研修等で集まって前で発表となると少し元気がなくなったり積極性が少なかったりすることがあるので、積極性があると良いなと思うことがあります。
- コミュニケーションは大切なので、なるべく多くの人と関わられるようになってほしいです。
- 挨拶をしっかりと行う事が何よりも大事になるため、そこだけはしっかりとおさえて頂ければと思います。
- 社会人としての基本的なマナーは身に付いています。比較的小となしい性格の学生さんが多いような印象です。積極性とコミュニケーション力を身に付けることが大切と考えます。
- 栄養士の力と事務処理能力の両方を持っていただけると施設では採用しやすいです。